

## おだか陽一後援会 総会を開催しました

二月二日(日)長生村文化会館にて、おだか陽一後援会総会が会員八〇名の出席により開催されました。

小高後援会会長のあいさつに引き続き小倉村議会議長より祝辞をいただきました。

議事では、①令和元年事業報告 ②令和元年収入支出決算の認定 ③令和二年事業計画(案) ④令和二年収入支出予算(案) ⑤役員の見直しについて説明と討議があり、すべて原案のとおり可決されました。



小高村長のあいさつでは、①津波避難施設の建設 ②村内三つの小学校へのエアコンの設置 ③ALT教員(保育所、小中学校で英語を教える外国人教師)の配置など英語教育の推進 ④高齢者福祉(タクシードライバーの配布等)などの、これまでの二期八年の実績

について説明がありました。また、今後の八積駅周辺環境整備事業について、①交流センターの建設 ②南口のラウンドアバウト整備を進めるとともに ③将来の北口の橋上化整備と併せ給食センターや認定こども園の建設により駅周辺の賑わいを作りだし、村の人口減少傾向に一定の歯止めをかけたという考えを示しました。

そのための財源として、四割の国庫補助に加えて好調な「ふるさと納税」を今後も更に維持できるように努力すると説明がありました。

## 女性部 「スズランの会」 活動計画



一月二六日「まきのきてい」にて新年会を開催しました。会員二十九名の和やかな食事会でした。

### ☆年間活動計画

・四月二九日講演会

保健師を講師にお願いし、テーマは「女性の健康の秘訣、笑いと体を動かし大きい声で」午後は一高村長の三期目の必勝を願う折鶴作り、一羽、一羽に心を込めて皆さんで折りたいと思います。

・八月、村観光協会主催盆踊り大会参加

・九月、海岸一斉清掃  
・十月、子ども祭りボランティア  
・十二月、お正月用生け花講習会  
多くの皆様の参加をお願いします。それぞれの活動の中で、何か一つでも自分のため、人のためになることを見い出せたらと思います。



折り鶴

## 村内女性からの意見

①(仮称)長生村交流センター建設に賛成多数と思われるが、「建設費」がと思う方は多いのでは？ 私たちが自分の家を新築するには、家族構成、高齢化等先々を考えると予算オーバーしてしまう。交流センターも同様に思われる。より良い交流センターを建設するため、村民が少しでも協力できる方法はないでしょうか。

(Aさん)

②長生村は都市圏に近接しており、JR利用によって通勤通学が便利であり、時間帯によっては八積駅から東京駅まで乗り換えなしで行き来ができることは大きな魅力です。駅周辺の整備に駐車場拡充を加えることにより、さらに利便性が向

上すると思います。また、村内の空き家の有効活用として、村が家賃を補助することで長生村の人口増に貢献して頂くことや駅を基点としての沼めぐり(尼ヶ台・大関・鵜沼堰等に四季折々の花木を植樹)など散策コースを整備して、電車の中吊り広告を期間限定でPRし、村外の観光客を呼んではいかがでしょうか。

(Yさん)

## 新型コロナウイルス対応

役場では新型コロナウイルスの流行に対し、二月二十一日村長を本部長とする感染症対策本部を設置しました。

◇おだか陽一後援会員および女性部スズランの会員を募集しております。

[申し込みはおだか陽一後援会事務所、またはお近くの役員までお願いします]

おだか陽一公式ホームページは下記のURLまたは  
<おだか陽一>で検索して見てください。  
<http://odakayoichi.com/>